

令和元年度 富山県障がい者スポーツ指導員養成講習会（初級）の様子

4日間の日程で講習会を行いました。

受講生は21名。全員受講中は講義実技に集中し、真剣そのもの。将来のスポーツ指導員としての実践に向け、多くのことを学ぶことができました。

1日目：11月30日 県総合体育センター

2日目：12月1日 セーナー苑

3日目：12月8日 県総合体育センター

4日目：12月14日 県総合体育センター

1日目（県総合体育センターで講義）



帝京平成大学，泉先生の「障害に応じたスポーツの工夫・実践」実技からのスタート



まずは、笑顔であいさつ・自己紹介



隣の人とはもちろん、前の人・後ろの人・近くにいる人と握手・握手で緊張がほぐれていく



この実技により、受講生には一体感が誕生



全員講義に集中

2日目（セーナー苑で実技） 障がい者スポーツ指導員の先輩方と一緒にスポーツを体験しました。



県障害者スポーツ協会 恒川局長の激励の言葉



県障がい者スポーツ指導者協議会小島会長の挨拶



セーナー苑の参加者と一緒にポッチャを使ったゲームに挑戦



次は卓球バレーを体験



なごやかな雰囲気でのバルーンゲーム 班全員の気持ちが一つに



セーナー苑参加者への対応や支援の仕方について、体験を通して学びました



各種目のルールや用具、場の設定の仕方楽しみながら学びました



閉会式



その後は各班ごとに今日の活動の振り返りを行いました

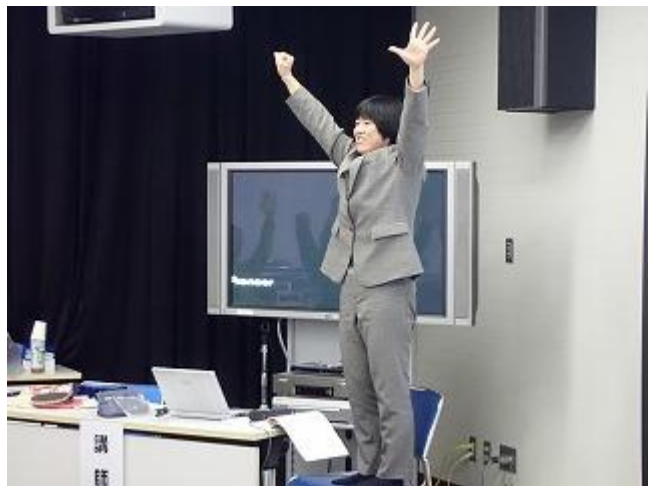
3・4日目（県総合体育センターで講義）



金沢星稜大学 池田先生による「ボランティア論」



恒川局長が障害者を支える人材の育成について力説



京都産業大学 奥田先生のパワフルな示範



隣の人に指示された指を動かすことができたかな？



「障害者スポーツの意義と理論」を真剣に学ぶ



閉講式



充実した表情で19時間に及ぶ4日間を終了しました。